

「30年後の浜松市の重要な分野～柱の選定～」

委員からの意見とりまとめ

「柱」の数 41 項目

「理想の姿」の数 220 項目 (再掲含む)

| | 分野 | 掲載数 | | 分野 | 掲載数 |
|----|-----------------|-------|-----------------|---------|---------------|
| 1 | 産業 | 38 項目 | 22 | 研究 | 6 項目 |
| 2 | 農林水産 | 1 項目 | 23 | 児童福祉 | 2 項目 |
| 3 | 農林業振興 | 3 項目 | 24 | 子育て | 2 項目 |
| 4 | 農業 | 1 項目 | 25 | 保育 | 1 項目 |
| 5 | 林業 | 1 項目 | 26 | こども家庭 | 3 項目 |
| 6 | 観光 | 3 項目 | 27 | メンタルヘルス | 3 項目 |
| 7 | 労働 | 22 項目 | 28 | 多文化共生 | 2 項目 |
| 8 | エネルギー | 2 項目 | 29 | スポーツ | 3 項目 |
| 9 | 新エネルギー | 2 項目 | 30 | 都市生活 | 1 項目 |
| 10 | 都市整備(都市計画、都市基盤) | 4 項目 | 31 | 人口 | 1 項目 |
| 11 | 建設 | 2 項目 | 32 | 市民協働 | 3 項目 |
| 12 | 住宅 | 2 項目 | 33 | ボランティア | 2 項目 |
| 13 | 交通 | 3 項目 | 34 | 行政 | 4 項目 |
| 14 | 健康福祉 | 7 項目 | 35 | 施設 | 1 項目 |
| 15 | 健康 | 6 項目 | 36 | 情報 | 1 項目 |
| 16 | 福祉 | 12 項目 | 37 | まちづくり | 1 項目 |
| 17 | 高齢者 | 4 項目 | 38 | 地域 | 7 項目 |
| 18 | 障がい者 | 3 項目 | 39 | 災害対策 | 1 項目 |
| 19 | 医療 | 6 項目 | 40 | 安心安全 | 1 項目 |
| 20 | 環境 | 18 項目 | 41 | 全体 | 2 項目 |
| 21 | 教育 | 33 項目 | のべ(再掲含む) | | 220 項目 |

| 1 柱 産業 | | 38 |
|--------|--|----|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 分散型電源をスマートグリッドで束ねたエネルギー自給社会となっている。【新エネルギーへ再掲】 | |
| 2 | 全ての住宅が準自立型住宅となっている。【新エネルギー、住宅へ再掲】 (住宅の性能としては、断熱・気密だけでなく不在時の開放が重要) | |
| 3 | 太陽電池を積んだ自動操縦の小型電気自動車が移動の中心手段となっている。【交通へ再掲】 | |
| 4 | ゴミ処理、資源回収、エネルギー回収が一体化されている。【環境へ再掲】 | |
| 5 | 浜松市製の人工衛星が完成している。【教育へ再掲】 | |
| 6 | 防潮堤完成により、これをPRすることで、人が浜松に集まる。【観光へ再掲】 | |
| 7 | 年間開業件数が、地方都市で 1 になっている。【労働へ再掲】 | |
| 8 | Uターン率が、地方都市で 1 になっている。【労働へ再掲】 | |
| 9 | 都市環境がハイテク化され、世界から視察がくるようになっている。【観光へ再掲】 | |
| 10 | ベンチャー企業が、アジアで最も仕事がしやすい都市になっている。【労働へ再掲】 | |
| 11 | サテライト・オフィスの件数が、全国で 1 になっている。【労働へ再掲】 | |
| 12 | 各地にある公共施設が地域社会に欠かせない存在になっている。【都市整備(都市計画、都市基盤)、施設、市民協働、教育へ再掲】 | |
| 13 | 木材関連が、浜松の主要産業の一角を占めている。 | |
| 14 | 浜松が人口も増加し、国土縮図型の中核都市として発展している。 | |
| 15 | 再生可能エネルギーである太陽光、風力、小規模水力、バイオマスなどが全消費エネルギーの半分を賄っている。 | |
| 16 | 新たな社会ニーズに対応した多様なビジネスが数多く生まれ、点から線、面へと広がり常に新しい産業が創出される。 | |
| 17 | 活気あふれる中心市街地と商店街。 | |
| 18 | 新たな価値観を生み出す創造的文化産業の創出される。例えば音をキーワードとして。 | |
| 19 | 浜松が滞在型観光都市になっている。 | |
| 20 | 浜松市内で資源が循環する社会。 | |
| 21 | 日本の産業界のリーダーがでる。日本一の人づくり都市。【教育へ再掲】 | |
| 22 | 4年に一度、浜松市街地一般道路を使ってバイクレース、もしくはモーターレースが開催されている(一般車を使ったレース。) | |
| 23 | 世界の最先端自動車やバイクなどのコンテストが行われている。 | |
| 24 | 自動車やバイクに関わる博物館があり、世界中の人が観光に訪れている。 | |

| | |
|----|--|
| 25 | 定年を迎えた人材の活用。【労働、市民協働へ再掲】 |
| 26 | 浜松から発信(進)する新産業の創設。【労働、研究へ再掲】 |
| 27 | 光の先端都市浜松。【教育、研究へ再掲】 |
| 28 | ワールドカップ in 浜松。【スポーツへ再掲】 |
| 29 | 国際会議の誘致。【教育、研究へ再掲】 |
| 30 | ノーベル賞受賞者の育成。【教育、研究へ再掲】 |
| 31 | 安心して暮らせる老後。【福祉へ再掲】 |
| 32 | エネルギーの地産地消。【エネルギーへ再掲】 |
| 33 | ベンチャー企業の育成、樹立。【労働、研究へ再掲】 |
| 34 | 食料の自給自足、地産地消、6次産業化。【農業へ再掲】 |
| 35 | 森林の育成。【林業へ再掲】 |
| 36 | 新東名沿線の「内陸フロンティア」。物流拠点だけでなく、パークアンドライド駐車場を設けた「横の天浜線と縦の遠鉄電車」で観光も。【都市整備(都市計画、都市基盤)へ再掲】 |
| 37 | 平日でもまちなかが人でにぎわっている。 |
| 38 | NPOと行政、産業、大学などの研究機関が連携し、環境問題や福祉問題その他社会問題に積極的に取り組んで、福祉・環境イノベーションとして浜松から全国に発信している。【教育、福祉、環境、市民協働へ再掲】 |

2 柱 農林水産

理想の姿

1

| | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | リタイア後に元気な方が農業就労出来るようなスキーム作り。【労働へ再掲】 |
|---|-------------------------------------|

3 柱 農林業振興

理想の姿

3

| | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 中山間地に産業が生まれ女性や若者が働く事ができる。 |
| 2 | ほぼ全ての学校の机や椅子が地元の木で作られている。公共施設が木造である。 |
| 3 | 中心部に木造高層建築がある。 |

4 柱 農業

理想の姿

1

| | |
|---|-------------------------|
| 1 | 【再掲】食料の自給自足、地産地消、6次産業化。 |
|---|-------------------------|

| 5 柱 林業 | |
|--------|------------|
| 理想の姿 | |
| | 1 |
| 1 | 【再掲】森林の育成。 |

| 6 柱 観光 | |
|--------|-------------------------------------|
| 理想の姿 | |
| | 3 |
| 1 | 【再掲】防潮堤完成により、これをPRすることで、人が浜松に集まる。 |
| 2 | 【再掲】都市環境がハイテク化され、世界から視察がくるようになっている。 |
| 3 | ウォーキングコースが、最も充実した地方都市になっている。【健康へ再掲】 |

| 7 柱 労働 | |
|--------|---|
| 理想の姿 | |
| | 22 |
| 1 | 【再掲】年間開業件数が、地方都市で 1 になっている。 |
| 2 | 人口流入率が、全国で 1 になっている。【人口へ再掲】 |
| 3 | 【再掲】Uターン率が、地方都市で 1 になっている。 |
| 4 | 【再掲】ベンチャー企業が、アジアで最も仕事がしやすい都市になっている。 |
| 5 | 【再掲】サテライト・オフィスの件数が、全国で 1 になっている。 |
| 6 | 時短勤務が当然となり育児・介護への理解が進む(ワークライフバランスの推進)。 |
| 7 | 正規・非正規雇用に関わらずワークライフバランス支援が行われる。 |
| 8 | 浜松市役所内の女性管理職が4割を超える。 |
| 9 | 市内企業の女性管理職が3割を超える。 |
| 10 | 全ての就労希望者に、適性を見極めてアドバイスするアドバイザー・カウンセラーがいる。(ニートや中途退職者への就労支援)【福祉へ再掲】 |
| 11 | 学童指導員の身分が保証され、働きやすい環境である。 |
| 12 | 小学1年生までの子どものいる親はフレキシブルな働き方をしている(パート 正社員)。 |
| 13 | 託児施設関係者が働きやすい環境で長期間働いている。 |
| 14 | 育休復帰時、3ヶ月猶予期間に設定し、徐々にフルタイムに復帰している。 |
| 15 | 性別に関係なく、希望者が管理職を目指している。 |
| 16 | 父親が時短制度を活用している。 |
| 17 | 父親、母親が短期間でも同時期に育休をとっている。 |
| 18 | 【再掲】定年を迎えた人材の活用。 |

| | |
|----|---|
| 19 | 【再掲】浜松から発信(進)する新産業の創設。 |
| 20 | 【再掲】ベンチャー企業の育成、樹立。 |
| 21 | 【再掲】リタイア後に元気な方が農業就労出来るようなスキーム作り。 |
| 22 | 障害があっても、望んだ仕事につき、自分の望む居住環境を選ぶことが出来る。【障がい者へ再掲】 |

8 柱 エネルギー

理想の姿 2

| | |
|---|---|
| 1 | 【再掲】エネルギーの地産地消。 |
| 2 | 長い日照時間・遠州のからっかぜ等、自然エネルギーを利用した発電日本一に。【環境へ再掲】 |

9 柱 新エネルギー

理想の姿 2

| | |
|---|--|
| 1 | 【再掲】分散型電源をスマートグリッドで束ねたエネルギー自給社会となっている。 |
| 2 | 【再掲】全ての住宅が準自立型住宅となっている。 (住宅の性能としては、断熱・気密だけでなく不在時の開放が重要) |

10 柱 都市整備(都市計画、都市基盤)

理想の姿 4

| | |
|---|--|
| 1 | 建築物もZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)として建築されるのが当然となっている。 |
| 2 | 【再掲】各地にある公共施設が地域社会に欠かせない存在になっている。 |
| 3 | 【再掲】新東名沿線の「内陸フロンティア」。物流拠点だけでなく、パークアンドライド駐車場を設けた「横の天浜線と縦の遠鉄電車」で観光も。 |
| 4 | 安全で円滑な交通基盤の整備 (歩行者・自転車・セニアカーの専用道) |

11 柱 建設

理想の姿 2

| | |
|---|---|
| 1 | 木造三階建て庭付きタウンハウス・テラスハウスが主流となっている。【住宅へ再掲】 |
| 2 | コンパクトシティ化されている。 |

12 柱 住宅

理想の姿 2

| | |
|---|--|
| 1 | 【再掲】全ての住宅が準自立型住宅となっている。 (住宅の性能としては、断熱・気密だけでなく不在時の開放が重要) |
| 2 | 【再掲】木造三階建て庭付きタウンハウス・テラスハウスが主流となっている。 |

| 13 柱 交通 | |
|---------|---|
| 理想の姿 | |
| 3 | |
| 1 | 【再掲】太陽電池を積んだ自動操縦の小型電気自動車が移動の中心手段となっている。 |
| 2 | 車歩分離が進み、安心して街中を歩くことができる。 |
| 3 | 今あるバスや電車以外でも、郊外への交通が便利に行き届いている。 |

| 14 柱 健康福祉 | |
|-----------|---------------------------------------|
| 理想の姿 | |
| 7 | |
| 1 | 高齢者が自然と相互に支えあえるような仕組みが出来ている。 |
| 2 | 足の不自由な人が、最も住み心地のいい地方都市になっている。 |
| 3 | 寝たきりの人の割合が、最も少ない地方都市になっている。 |
| 4 | 健康な人の割合が、最も多い地方都市になっている。 |
| 5 | 住み慣れた自宅で経済的な不安もなく、医療・介護を受け生活することができる。 |
| 6 | 高齢者にとってやさしい地域社会となっている。 |
| 7 | 医者の土日診療推奨。【医療、こども家庭へ再掲】 |

| 15 柱 健康 | |
|---------|--|
| 理想の姿 | |
| 6 | |
| 1 | 健康寿命が断トツの日本一になり、そして、まちなかに人が戻ってきた。【都市生活へ再掲】 |
| 2 | 【再掲】ウォーキングコースが、最も充実した地方都市になっている。 |
| 3 | 足の不自由な人が、最も住み心地のいい地方都市になっている。 |
| 4 | 寝たきりの人の割合が、最も少ない地方都市になっている。 |
| 5 | 健康な人の割合が、最も多い地方都市になっている。 |
| 6 | 健康長寿日本一 |

| 16 柱 福祉 | |
|---------|---------------------------------|
| 理想の姿 | |
| 12 | |
| 1 | 学童保育は小学校6年生まで保障される。 |
| 2 | ひとり親家庭への支援が充実する。 |
| 3 | 子育て支援は子育て支援(子どもが健全に育つための支援)となる。 |
| 4 | ジョブコーチが多くの企業に配置されている(障がい者の就労)。 |

| | |
|----|--|
| 5 | 外国人に対する保険制度が整備されている。 |
| 6 | 【再掲】全ての就労希望者に、適性を見極めてアドバイスするアドバイザー・カウンセラーがいる。(ニートや中途退職者への就労支援) |
| 7 | 元気な高齢者による地域サポートネットが充実している。 |
| 8 | 老人ホーム、幼保育施設が一体となった交流施設が町にある(独居、核家族交流)【教育へ再掲】 |
| 9 | 【再掲】安心して暮らせる老後。 |
| 10 | 地区社会福祉協議会が充実し、住民による地域独自の福祉活動が活発に行われている。【地域、まちづくりへ再掲】 |
| 11 | 地域の福祉活動に参加する住民が現在の2倍になっている。【ボランティア、地域へ再掲】 |
| 12 | 【再掲】NPOと行政、産業、大学などの研究機関が連携し、環境問題や福祉問題その他社会問題に積極的に取り組んで、福祉・環境イノベーションとして浜松から全国に発信している。 |

17 柱 高齢者
理想の姿 4

| | |
|---|---|
| 1 | 元気な高齢者がボランティアとして地域で活躍している。【ボランティアへ再掲】 |
| 2 | 地区ごとに住民と専門職が協働して「福祉なんでも相談所」を開設し、住民生活に安心を提供している。【障がい者、子育て、地域へ再掲】 |
| 3 | 小規模多機能型居宅介護施設が地域に点在し、施設入所をさせることなく、家族が安心して在宅介護を続けられ、お年寄りも住み慣れたまちで暮らし続けられる。【まちづくりへ再掲】 |
| 4 | 日ごろの福祉活動によりつながりが形成され、「災害時要援護者」といわれる人々が安心して生活できる。【障がい者、災害対策へ再掲】 |

18 柱 障がい者
理想の姿 3

| | |
|---|--|
| 1 | 【再掲】地区ごとに住民と専門職が協働して「福祉なんでも相談所」を開設し、住民生活に安心を提供している。 |
| 2 | 【再掲】障害があっても、望んだ仕事につき、自分の望む居住環境を選ぶことができる。 |
| 3 | 【再掲】日ごろの福祉活動によりつながりが形成され、「災害時要援護者」といわれる人々が安心して生活できる。 |

19 柱 医療
理想の姿 6

| | |
|---|--|
| 1 | 医療機関と連携してスポーツ科学が発展し、国内外から選手がトレーニングに訪れている。【スポーツへ再掲】 |
| 2 | 舘山寺地区に、出産に関わるケア施設、終末期の患者が尊厳を大切にできる医療施設がある。 |
| 3 | テーラーメイド医療(個別医療)の確立、再生医療、最先端医療。【研究へ再掲】 |
| 4 | 障害をお持ちの方が安心して暮らせる街。【地域へ再掲】 |
| 5 | 【再掲】医者のお土日診療推奨。 |
| 6 | 入院中心の精神科医療が、地域中心の精神科医療になっている。【地域へ再掲】 |

| 20 柱 環境 | | 18 |
|---------|--|----|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】ゴミ処理、資源回収、エネルギー回収が一体化されている。 | |
| 2 | 身近に豊かな自然環境が保持されている。 | |
| 3 | 市の中心部に緑が多くなった(現在の5倍)。 | |
| 4 | 緑の多い多目的利用の公園が増え、市民の憩いの場となる | |
| 5 | 安心して子どもが遊んだり、大人が運動したりできる公園がコンビニの数よりたくさんある。【子育てへ再掲】 | |
| 6 | 子供たちが笑顔で遊べる公園。【教育へ再掲】 | |
| 7 | バイオマスエネルギーが市民の生活の中に浸透している。 | |
| 8 | 生物が適正な頭数を保たれている。人間との住み分けが出来ている。 | |
| 9 | 山に広葉樹林が増えている。 | |
| 10 | 生活に必要な空気、水がしっかりと守られている。 | |
| 11 | 浜松が環境都市として日本をリードしている。 | |
| 12 | 【再掲】長い日照時間・遠州のからっかぜ等、自然エネルギーを利用した発電日本一に。 | |
| 13 | 若者の雇用や、意見を発散できるような場所(スピーチパーク的なもの)がある。 | |
| 14 | 少し休めるような公園がまちなかにある。 | |
| 15 | 小学校を森や小川の近くに作り、こども達が自由に遊べる環境が整っている。【子育てへ再掲】 | |
| 16 | 子育てのための環境が整備され、全国の合計特殊出生率が全国のベストテンに入っている。【子育てへ再掲】 | |
| 17 | 【再掲】NPOと行政、産業、大学などの研究機関が連携し、環境問題や福祉問題その他社会問題に積極的に取り組んで、福祉・環境イノベーションとして浜松から全国に発信している。 | |
| 18 | エネルギー(電気)自給率が100%になっている。 | |

| 21 柱 教育 | | 33 |
|---------|-----------------------------------|----|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 子供が伸び伸びと、かつ必要な知識を身につけられる環境が整っている。 | |
| 2 | 【再掲】浜松市製の人工衛星が完成している。 | |
| 3 | 【再掲】各地にある公共施設が地域社会に欠かせない存在になっている。 | |
| 4 | 【再掲】日本の産業界のリーダーがでる。日本一の人づくり都市。 | |
| 5 | 幼稚園・保育園が一元化されている。 | |

| | |
|----|--|
| 6 | 公立幼保園で質の高い保育サービスが行われる。 |
| 7 | 教員は教育(授業・生徒とのコミュニケーション)に専念できる。 |
| 8 | 多様化する個性・能力に即した教育が行われる(少人数制・TT(Team Teaching))。 |
| 9 | 外国につながる子どもたちへの日本語等の教育支援が充実する。 |
| 10 | バイリンガルが教育の現場で活躍できる(有能な人材確保・継続的雇用保障)。 |
| 11 | メディア環境の整備に伴い未成年者へのフィルタリングも確実に行われる。【情報へ再掲】 |
| 12 | 各自治区、もしくは学区に一つ無料塾(経済格差のある子どもが学べる場所)がある。 |
| 13 | 無料塾は専門機関(児童相談所、弁護士、医療機関など)と連携しており、個別に必要な支援をうけられる。 |
| 14 | 各自治区、もしくは学区に一つ子ども館(子育て支援拠点、学童保育)がある。【子育てへ再掲】 |
| 15 | 親も子どもも安心して安全に過ごせる学童保育の仕組みがある。(運営:市事業もしくは民間、NPO法人など)(適正な環境の確保)【児童福祉へ再掲】 |
| 16 | 学童が生活保育の場であるとともに、教育的支援も受けられる場所である。【児童福祉へ再掲】 |
| 17 | 子どもから大人まで職業体験ができるしくみがある(海外留学するように企業や自治体に短期留学できる)。 |
| 18 | 【再掲】老人ホーム、幼保育施設が一体となった交流施設が町にある(独居、核家族交流)。 |
| 19 | 幼～高校、大学まで無償で学校に通っている。 |
| 20 | 発達支援教育を受けられたり相談できたりする場がある。 |
| 21 | 地域-学校、教師-保護者-子どもの信頼関係が高く、体罰、いじめ問題が0、もしくは改善に協力体制で取り組んでいる。 |
| 22 | フリースクールが精査され、個人に合った教育を誰もが受けている。 |
| 23 | 【再掲】子供たちが笑顔で遊べる公園。 |
| 24 | 【再掲】光の先端都市浜松。 |
| 25 | 地域の協力ある教育環境の樹立。【地域へ再掲】 |
| 26 | 【再掲】国際会議の誘致。 |
| 27 | 【再掲】ノーベル賞受賞者の育成。 |
| 28 | 不登校やひきこもり経験の児童・生徒であっても、適切な支援が行われ、適切な就学支援を受けたり、望んだ仕事につくことができる。【子育て、メンタルヘルスへ再掲】 |
| 29 | 精神疾患やメンタルヘルスの予防教育が普及している。【メンタルヘルスへ再掲】 |
| 30 | 【再掲】NPOと行政、産業、大学などの研究機関が連携し、環境問題や福祉問題その他社会問題に積極的に取り組んで、福祉・環境イノベーションとして浜松から全国に発信している。 |
| 31 | 子育てをするなら浜松市がいいと日本中、世界中の人からいわれている。【保育へ再掲】 |

| | |
|----|---------------------------------------|
| 32 | 『やらまいか』精神が復活したまちになっている。 |
| 33 | 地域の絆が世界一(『支え合いのまち』、『育ち合いのまち』)といわれている。 |

| | | |
|-------------|-----------|---|
| 22 柱 | 研究 | |
| 理想の姿 | | 6 |

| | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 【再掲】テーラーメイド医療(個別医療)の確立、再生医療、最先端医療。 |
| 2 | 【再掲】浜松から発信(進)する新産業の創設。 |
| 3 | 【再掲】光の先端都市浜松。 |
| 4 | 【再掲】国際会議の誘致。 |
| 5 | 【再掲】ノーベル賞受賞者の育成。 |
| 6 | 【再掲】ベンチャー企業の育成、樹立。 |

| | | |
|-------------|-------------|---|
| 23 柱 | 児童福祉 | |
| 理想の姿 | | 2 |

| | |
|---|---|
| 1 | 【再掲】親も子どもも安心して安全に過ごせる学童保育の仕組みがある。(運営:市事業もしくは民間、NPO法人など)(適正な環境の確保) |
| 2 | 【再掲】学童が生活保育の場であるとともに、教育的支援もうけられる場所である。 |

| | | |
|-------------|------------|---|
| 24 柱 | 子育て | |
| 理想の姿 | | 8 |

| | |
|---|---|
| 1 | 【再掲】各自治区、もしくは学区に一つ子ども館(子育て支援拠点、学童保育)がある。 |
| 2 | 【再掲】安心して子どもが遊んだり、大人が運動したりできる公園がコンビニの数よりたくさんある。 |
| 3 | いつでもだれでも安価に利用できる託児施設がある。 |
| 4 | (こどもの)ショートステイやトワイライトステイを実施できる事業所が増加し、区役所単位に3か所となる。【安心安全へ再掲】 |
| 5 | 【再掲】地区ごとに住民と専門職が協働して「福祉なんでも相談所」を開設し、住民生活に安心を提供している。 |
| 6 | 【再掲】小学校を森や小川の近くに作り、こども達が自由に遊べる環境が整っている。 |
| 7 | 【再掲】子育てのための環境が整備され、全国の合計特殊出生率が全国のベストテンに入っている。 |
| 8 | 【再掲】不登校やひきこもり経験の児童・生徒であっても、適切な支援が行われ、適切な就学支援を受けたり、望んだ仕事につくことができる。 |

| | | |
|-------------|-----------|---|
| 25 柱 | 保育 | |
| 理想の姿 | | 1 |

| | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 【再掲】子育てをするなら浜松市がいいと日本中、世界中の人からいわれている。 |
|---|---------------------------------------|

| 26 柱 | | こども家庭 |
|------|--|-------|
| 理想の姿 | | 3 |
| 1 | 「小学生以下は、市が関与する動物園・フラワーパーク・フルーツパークの入園料が無料」、「休耕田を利用した大規模な菜の花・ひまわり・コスモス等の植栽」といった、休日に無料で楽しめるようなテーマパークの創造 | |
| 2 | 【再掲】医者のお土日診療推奨。 | |
| 3 | 里親の数が現在の3倍となり、各中学校校区に複数の里親家庭がある。【地域へ再掲】 | |

| 27 柱 | | メンタルヘルス |
|------|---|---------|
| 理想の姿 | | 3 |
| 1 | 【再掲】不登校やひきこもり経験の児童・生徒であっても、適切な支援が行われ、適切な就学支援を受けたり、望んだ仕事につくことができる。 | |
| 2 | 自殺率が国の値の半分以下になっている。 | |
| 3 | 【再掲】精神疾患やメンタルヘルスの予防教育が普及している。 | |

| 28 柱 | | 多文化共生 |
|------|----------------------------|-------|
| 理想の姿 | | 2 |
| 1 | 外国につながる子どもたちへの母語支援活動が行われる。 | |
| 2 | 外国につながる文化的イベントが増える。 | |

| 29 柱 | | スポーツ |
|------|--|------|
| 理想の姿 | | 3 |
| 1 | アマチュアスポーツ(ビーチバレー、フットサル、ビーチテニスなど)の大会が行われ、有力選手の中に浜松出身者が多くいる。 | |
| 2 | 【再掲】医療機関と連携してスポーツ科学が発展し、国内外から選手がトレーニングに訪れている。 | |
| 3 | 【再掲】ワールドカップ in 浜松。 | |

| 30 柱 | | 都市生活 |
|------|---------------------------------------|------|
| 理想の姿 | | 1 |
| 1 | 【再掲】健康寿命が断トツの日本一になり、そして、まちなかに人が戻ってきた。 | |

| 31 柱 | | 人口 |
|------|--------------------------|----|
| 理想の姿 | | 1 |
| 1 | 【再掲】人口流入率が、全国で 1 になっている。 | |

| 32 柱 市民協働 | | 3 |
|-----------|--|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】各地にある公共施設が地域社会に欠かせない存在になっている。 | |
| 2 | 【再掲】定年を迎えた人材の活用。 | |
| 3 | 【再掲】NPOと行政、産業、大学などの研究機関が連携し、環境問題や福祉問題その他社会問題に積極的に取り組んで、福祉・環境イノベーションとして浜松から全国に発信している。 | |

| 33 柱 ボランティア | | 2 |
|-------------|---------------------------------|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】地域の福祉活動に参加する住民が現在の2倍になっている。 | |
| 2 | 【再掲】元気な高齢者がボランティアとして地域で活躍している。 | |

| 34 柱 行政 | | 4 |
|---------|---|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 全ての協働センターが民営化されている。 | |
| 2 | 全ての施策は、仕組みの整備と目標数値の設定ではなく内容重視とする。 | |
| 3 | 政策決定の場に複数の女性がいる。 | |
| 4 | 保育園、就労、社会保障、学童など関連性のある相談を総合的に受け付けてくれる窓口がある。 | |

| 35 柱 施設 | | 1 |
|---------|-----------------------------------|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】各地にある公共施設が地域社会に欠かせない存在になっている。 | |

| 36 柱 情報 | | 1 |
|---------|--|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】メディア環境の整備に伴い未成年者へのフィルタリングも確実に行われる。【再掲】 | |

| 37 柱 まちづくり | | 1 |
|------------|---|---|
| 理想の姿 | | |
| 1 | 【再掲】地区社会福祉協議会が充実し、住民による地域独自の福祉活動が活発に行われている。 | |
| 2 | 【再掲】小規模多機能型居宅介護施設が地域に点在し、施設入所をさせることなく、家族が安心して在宅介護を続けられ、お年寄りも住み慣れたまちで暮らし続けられる。 | |

| 38 柱 | | 地域 | |
|------|---|----|---|
| 理想の姿 | | | 7 |
| 1 | 【再掲】地域の協力ある教育環境の樹立。 | | |
| 2 | 【再掲】障害をお持ちの方が安心して暮らせる街。 | | |
| 3 | 【再掲】里親の数が現在の3倍となり、各中学校区に複数の里親家庭がある。 | | |
| 4 | 【再掲】地区社会福祉協議会が充実し、住民による地域独自の福祉活動が活発に行われている。 | | |
| 5 | 【再掲】地域の福祉活動に参加する住民が現在の2倍になっている。 | | |
| 6 | 【再掲】地区ごとに住民と専門職が協働して「福祉なんでも相談所」を開設し、住民生活に安心を提供している。 | | |
| 7 | 【再掲】入院中心の精神科医療が、地域中心の精神科医療になっている。 | | |

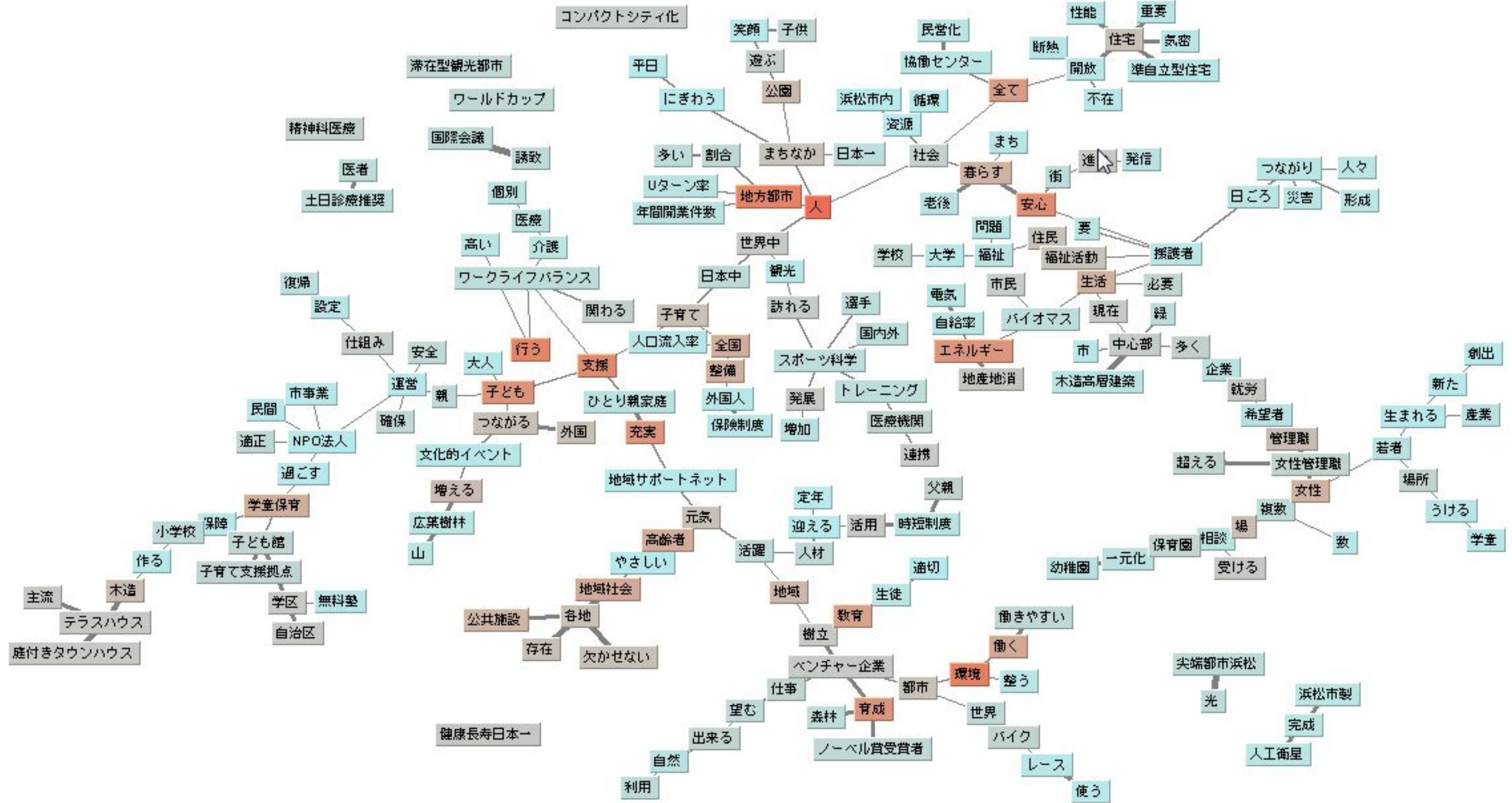
| 39 柱 | | 災害対策 | |
|------|--|------|---|
| 理想の姿 | | | 1 |
| 1 | 【再掲】日ごろの福祉活動によりつながりが形成され、「災害時要援護者」といわれる人々が安心して生活できる。 | | |

| 40 柱 | | 安心安全 | |
|------|---|------|---|
| 理想の姿 | | | 1 |
| 2 | 【再掲】(こどもの)ショートステイやトワイライトステイを実施できる事業所が増加し、区役所単位に3か所となる | | |

| 41 柱 | | 全体 | |
|------|------------------------------------|----|---|
| 理想の姿 | | | 2 |
| 1 | 全ての人々が心安らかに暮らせる社会になっている。 | | |
| 2 | 「浜松の良いところ」を市民が10個以上、即答できるようになっている。 | | |

再掲項目数: 80項目

未来デザイン会議 柱案の概要マップ



キーワードの重要度・テキスト数によってグラデーション表示します。

重要度:高
テキスト数:多

重要度:低
テキスト数:少

平成25年度市民インタビューの概要マップ

この概要マップは、市民インタビューの原稿を、テキストマイニングという分析手法を使って、インタビューを受けた市民の皆様の浜松市に対する希望や課題などを分かりやすく、可視化したものです。テキストマイニングとは、大量の文書を、一つ一つの単語に区切り、同文書中の単語の出現回数や単語同士の関係を分析することで、重要なキーワードを抜き出し、どのような事が書かれているかをわかりやすく理解するための技術です。この技術は、アンケート等の分析や、インターネットの検索サイトなどに用いられています。

